

2021. 1. 8

一般社団法人静岡県信用金庫協会

第57回県内信用金庫連携による合同景況調査結果

一般社団法人静岡県信用金庫協会（会長 田形 和幸）は、平成17年(2005年)10月以降、県内信用金庫連携による合同景況調査を実施しています。

各信用金庫が協力して取引先企業1,204社にアンケート調査を実施し、1,201社から得た回答（有効回答率99.8%）をもとに、県内経済を支える地元企業を広く網羅して分析したものです。

静岡県信用金庫協会では、地域に密着した信用金庫ならではの情報提供を通じて地域に貢献し、信用金庫の存在意義を高めていきたいと考えております。

「県内中小企業等の景況感DIは改善、引き続き悪化水準は高い」

【概 況】

2020年10～12月の県内中小企業等の業況DI（企業の景況感を示す、「良い」とする企業割合から「悪い」とする企業割合を引いた数値）は、前回調査時（2020年7月～9月「以下同じ」）の▲59.1から▲36.4へと22.7ポイントの改善となった。

業種別にみると、サービス業（前回調査▲62.0→今回調査▲27.7）、製造業（▲72.7→▲42.8）、小売業（▲56.0→▲33.5）ほか、すべての業種において改善している。

これを地区別の業況DIで見ると、東部地区、中部地区、西部地区とも、改善しているが（地区別の詳細は次頁のとおり）、各地区とも、長引くコロナ禍の影響により、依然として悪化水準は高い。

県内合計及び地区別DIの推移（全産業）

	2018年	2019年				2020年				2021年
	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3 (見通し)
東部地区	▲0.8	▲17.5	▲16.9	▲16.3	▲24.0	▲30.6	▲67.0	▲50.9	▲26.2	▲42.7
中部地区	8.9	3.8	▲3.4	▲7.6	▲7.4	▲21.1	▲53.7	▲59.6	▲39.7	▲42.8
西部地区	8.6	▲0.8	▲8.5	▲10.9	▲20.9	▲26.9	▲71.0	▲63.6	▲41.3	▲45.6
県内計	6.1	▲4.4	▲9.7	▲11.6	▲18.7	▲26.7	▲67.0	▲59.1	▲36.4	▲44.2

2021年1～3月の業況見通しは、東部、中部、西部ともにコロナ禍の長期化による先行き不透明感から、マイナス幅が拡大し悪化の予想となっている。

■東部地区

東部では、不動産業が▲5.9ポイント（▲5.9⇒▲11.8）と悪化したものの、サービス業が60.8ポイント（▲60.8⇒0.0）と大幅に改善し、小売業が30.6ポイント（▲60.7⇒▲30.1）、製造業が23.1ポイント（▲68.5⇒▲45.4）、卸売業が14.3ポイント（▲48.6⇒▲34.3）、建設業が11.8ポイント（▲23.7⇒▲11.9）と改善したことから、全産業ベースの業況DIは前回調査時の▲50.9から▲26.2と改善となった。

製造業

業況は、コロナ禍の影響が一段落したことから、改善しているが、引き続き高いマイナス水準となっている。

今後の見通し（2021年1～3月期・以下同じ）としては、コロナ禍の影響による先行き不透明感から、業況はやや悪化を見込んでいる。

（事業者の声）

- ・外国人労働者の往来が制限されていることから生産数や労働者の調整が厳しい。（印刷紙器・段ボール箱製造業）
- ・紙の製造も造る品種により売上に差が出るなど、コロナ禍によりこれまでとは違った情勢となっている。（ペーパータオル製造業）
- ・コロナ禍において原材料自体が少なく、資材等の原価が上昇している。（板金加工製品製造業）
- ・3～6月までは、国外への輸出が遅れるなどの影響により売上が大きく減少することもあったが、現在は前年比▲10%程度まで回復してきている。また、商品納品後の説明をオンラインで行っており、ウィズコロナ対応を進めている。（機械器具製造）
- ・欧米、中国と足並みを揃えガソリン車廃止の動きを本格化している。（自動車部品製造業）

卸売業

業況は、国の施策等の効果も多少あり、改善となっている。

今後の見通しとしては、コロナ禍の影響が当面続くとの見方から、悪化を見込んでいる。

（事業者の声）

- ・医療、介護用品購入のための助成金が出た影響で受注が多数来っており、特需が発生している。しかしながら、全国で同時に動き出したことから品不足が起き、その後の売上については懸念がある。（福祉用具卸売業）
- ・コロナ禍の影響を受け売上が大幅に減少したものの、GoTo トラベルの効果もあり熱海方面の宿泊施設からの売上は回復してきた。第三波による再度の外出自粛による売上減少の懸念もあり、経費の削減に尽力している。（工業薬品卸売業）
- ・コロナ禍での巣籠り需要の増加により、加工食品の売上が増加している。（食品卸売業）
- ・コロナ禍の影響により、企業の事業活動が縮小し、販売先である製紙メーカーでの生産調整に伴い故紙の販売量が減少している。今後においても、ペーパーレスの進行による業界全体の低迷が懸念される。（故紙卸売業）
- ・取引先の大半が飲食店であるが、コロナ禍の影響による飲食店の休業・時短営業・廃業などにより、売上回復の目処が立たない。（業務用洗剤・厨房備品）

小売業

業況は、年末商戦等もあり売上、収益ともに回復の兆しもあることから、改善となっている。

今後の見通しとしては、コロナ禍の影響の長期化から、同業他社や大型店との競争がさらに激化し、売上、収益ともに大幅に減少することから、業況は悪化を見込んでいる。

（事業者の声）

- ・コロナ禍のテイクアウト需要で店頭売上が増加している。（パン小売業）
- ・コロナ禍の影響により、葬儀場での生花の需要が大幅に減少している。（生花小売業）
- ・コロナ禍の影響による葬儀等の縮小、自粛により、香典返しとして利用されていたお茶の需要が減少しており、リーフ茶の市場は減少傾向にある。（緑茶小売業）
- ・ガソリンの売上が減少している。収益率の高い洗車等に力を入れている。（ガソリン・軽油・灯油小売）
- ・コロナ禍の影響でマスクや消毒液等の販売が好調。今後もネット販売含め、売上増加が見込まれる。（洋品、雑貨小売）

サービス業

業況は、GoTo キャンペーン等の効果により売上が回復傾向にあることから、大幅な改善となっている。

今後の見通しとしては、GoTo キャンペーンの一時停止や時短要請など、今後もコロナ禍の影響が長期化するとの予測から、悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・コロナ禍の影響によるイベントの中止や外出自粛により、ほぼ全てのエリアで売上が半減しており、大打撃を受けている。(タクシー業)
- ・コロナ禍の影響により、来院する患者数が減少しているが、消毒等の管理業務は増加している。(病院 (内科))
- ・GoTo キャンペーンによるクーポン利用客が大半で、資金化までの日数が資金繰りを圧迫している。(旅館業)
- ・新型コロナウイルスの感染拡大を抑えるため仕方がないが、年末年始の一番の稼ぎ時に時短要請は厳しい。(飲食業)
- ・コロナ禍の影響により、取引先のホテル、旅館からの荷物が減少し売上に影響が出ている。収束から常態に戻るまで2〜3年かかると予想。(リネンクリーニング業)

建設業

業況は、一時期よりも受注が回復してきたことから、改善となっている。

今後の見通しとしては、コロナ禍の影響が長期化し、売上、受注などの減少から、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・コロナ禍の影響により、来年度の市の公共工事への予算が減少することを懸念している。(総合建設業)
- ・オリンピック開催の有無によっては、受注に変化や影響がある。(総合建設業)
- ・恒常的な人材不足。冬の間は北海道の季節労働者を確保し不足を補完している。(防水工事業)
- ・人口減少により新築は減少し、リフォームの需要が高まる見通し。(一般住宅建築業)
- ・国土強靱化計画のもと、砂防工事などに国の予算が付いており、当面の受注に不安はない。(総合建設業)

不動産業

業況は、販売価格の低下や商品物件の不足などから、悪化となっている。

今後の見通しとしては、コロナ禍の影響が長期化し消費の低迷が懸念されることから、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・コロナ禍による景気低迷の影響により不動産を手放すことを検討する方が増えている印象。不動産業としては商品となる不動産を確保するビジネスチャンスとなっている。(不動産売買・仲介)
- ・非対面営業ツールの導入や、HP に査定機能を加え商品物件の確保を図る方針。(不動産売買・賃貸)
- ・業界は活発に動いているが、来年以降不動産の買い控えが発生する可能性がある。(不動産仲介)
- ・コロナ禍の影響でリモートワークが増え、移住者の需要により不動産の動きは悪くない状況。(不動産売買・仲介)
- ・コロナ禍の影響で、不動産業界の消費も低迷が予測されるため、今後は遊休不動産の活用等の提案を検討している。(不動産売買・仲介)

■中部地区

中部では、小売業で41.2ポイント(▲55.9⇒▲14.7)、不動産業で34.8ポイント(▲65.2⇒▲30.4)と大幅に改善し、建設業で19.1ポイント(▲37.0⇒▲17.9)、製造業で10.4ポイント(▲58.5⇒▲48.1)、卸売業で10.0ポイント(▲73.3⇒▲63.3)、サービス業で9.2ポイント(▲69.2⇒▲60.0)とすべての業種でマイナス幅が縮小したことから、全産業ベースの業況DIは、前回調査時の▲59.6から▲39.7へと改善となった

製造業

業況は、原材料価格の低下や在庫の適正化などから、改善したものの、依然マイナス水準となっている。

今後の見通しとしては、売上の停滞から、業況はほぼ横ばいを見込んでいる。

(事業者の声)

- ・コロナ禍の影響で売上高は減少傾向であるが、販路開拓、マッチング等の支援を活用していく。(木製家具)
- ・コロナ禍ではあるが、大型店舗より大幅な受注により増収増益見込みがある。(鯉節・削節)
- ・売上高は回復傾向にあり緊急事態制限などなければ現在の業況を維持できる。(制御盤製造)
- ・主要取引先が12月頃より中国からの受注が増加見込みで、その影響を受け売上は増加見込み。ただし先行きは不透明であり、完全に業況回復するには至らず危機感を募らせている。(金属板加工業)
- ・公共工事や、県外のショッピングモールのオープンに伴う受注が決まっていることから、今後も忙しい。全体的には原材料が高くなっているため、利益が出にくくなっているが経費節減を行い努力を続けている。(合板製造業)

卸売業

業況は、コロナ禍の影響により、依然高いマイナス水準となっている。

今後の見通しとしては、売上、収益の減少から、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・厳しい経営状況下において、当面は現状の財務内容を維持していくことに心掛けている。(一般鋼材)
- ・全国各地の米を取り扱っており、コロナ禍の影響による売上の減少は軽微であるものの、物流機能が低下することを危惧している。(米卸業)
- ・コロナ禍の影響により、売上減少。業界全体が冷え込んでいる。展示会での商談がその後の取引へと繋がる流れがあるが、展示会が開催されず、また来年も開催されるか定かではないことから、業況回復には時間がかかるものと思われる。(産業機械卸売業)
- ・コロナ禍の影響も伴って、販売先によって受注量のバラつきが出ている。スーパー等は一般消費が好調な為、堅調に推移しているが、飲食店等の販売については引き続き厳しい状況。(海産物加工・卸売業)
- ・仕入価格、販売価格を下げて販売していたが、コロナ禍の影響で市場が品薄になったためネットでの対応となり仕入、販売価格ともに上昇した。ネット対応に伴い粗利減となった。(花苗、花鉢、観葉植物卸売業)

小売業

業況は、コロナ禍における新たな生活様式に順応した取組みなどが定着し、大幅な改善となっている。

今後の見通しとしては、コロナ禍の影響が続くことを懸念し、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・コロナ禍の影響で家飲みが増え一般顧客の売上は増加したものの、居酒屋等の飲食店への売上は減少している。(酒類・調味食品)
- ・コロナ禍の影響で、店頭の来客者数が減少し売上は減少している。新しい生活様式に合ったネット販売・アプリを活用した戦略を検討している。(化粧品販売)
- ・先代からの伝統の味も守っており、地域に根づいた小売店としてコロナ禍でも売上を伸ばしている。(和洋菓子)
- ・固定客は戻りつつあるも、客単価が落ちており、売上が伸び悩んでいる。SNSを利用し、顧客の呼び込みを行っているもコロナ禍の長期化の影響から、集客が難しい状況。(衣服小売業)
- ・コロナ禍の影響から、消費者の勤務形態が変わり、出勤日数が減少しており、文具の消費量も減少しているため、新たな販路開拓を模索している。(文具業)

サービス業

業況は、やや改善したものの、収益の減少や在庫の増加もあり、依然高いマイナス水準となっている

今後の見通しとしては、感染対策が進むことを期待し、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・受注は増加傾向で、次期決算は増収増益の見通し。(ビルメンテナンス業)
- ・労働環境が厳しく、人の入替が多く人材確保に苦慮している。コロナ禍による売上減少はないものの、感染対策等の費用が高み収益力は低下した。(介護業)
- ・コロナ禍の影響を直に受け、売り上げは大きく減少。Goto トラベルも低価格帯ホテルへの影響は軽微でオリンピ

ック需要も大きくは期待できないため、売上の回復は相当年数かかるとされる。(旅館宿泊業)

・地元根付いたサービス実施により、リピーターは多い。コロナ禍においてもそこまでの売上減少は見込んでいない。(自動車整備業)

・店舗周辺の常連客のおかげでコロナ禍の影響は大きくない。最近の感染者の急激な増加により、先行きが不安。(理美容業)

建設業

業況は、資金繰りの一服感などもあり、改善となっている。

今後の見通しとしては、販売価格や仕入価格の改善などから、業況はやや改善を見込んでいる。

(事業者の声)

・官公庁からの修理、工事等が最近増えつつある。(建設業)

・コロナ禍の影響により一時期は売上減少が続いたが、令和3年の受注もある程度見込まれており、業況見通しは比較的良好。ただ近時、感染者が増加していることから予断を許さない状況にある。

(駐車場設置・組立業)

・現状の受注は安定しており、コロナ禍の影響も僅かであったが、今後コロナ禍が更に長期化すれば受注減の可能性があり、警戒している。(電気工事業)

・公共工事が中心となり、冬にかけて大きめの工事受注を確保できたため業況は良好。受注状況にはコロナ禍の影響はほとんど受けていない。(土木工事業)

不動産業

業況は、コロナ禍の影響による移動制限が一時的に緩和されたことから、大幅な改善となっている。

今後の見通しとしては、販売価格の下降や在庫不足などから、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

・コロナ禍により、売買スケジュール・商談等に影響を受けたが、現在は通常通りに戻りつつある。資金繰りも特段問題ない。(不動産売買)

・入居状況に大きな変動はなく、家賃引き下げについての依頼もない。入居者の職種等にもよるとされるが、今後、コロナ禍の影響が続けば、家賃引下げ依頼が出てくると予想している。(不動産賃貸業)

・コロナ禍の終息次第にもよるが、近隣に工場など多々あり、このところ若干であるが引き合いが増えてきている。(貸家業)

・賃貸に関しては家賃の引き下げ要請に対応し、一時は大幅な減少となったが、家賃支援給付金が始まってからは回復傾向。(不動産業)

■西部地区

西部では、製造業が35.3ポイント(▲76.3⇒▲41.0)、サービス業は17.2ポイント(▲59.1⇒▲41.9)、卸売業が15.1ポイント(▲80.0⇒▲64.9)、建設業が7.1ポイント(▲26.0⇒▲18.9)、小売業が2.9ポイント(▲50.0⇒▲47.1)、不動産業が2.6ポイント(▲34.0⇒▲31.4)とすべての業種でマイナス幅が縮小したことから、全産業ベースの業況DIは前回調査時の▲63.6から▲41.3と改善したが、悪化水準は引き続き高い。

製造業

業況は、売上の増加から、改善となった。

今後の見通しとしては、売上の減少などから、業況DIはやや悪化を見込む。

(事業者の声)

・コロナ禍で、売上が大きく減少したが、現状では回復しつつある。(二輪車)

・10月以降の受注状況は回復傾向にある。(自動車)

・先行きは不透明で同業者間の競争も激化しており、利幅も縮小している。(プラスチック金型)

卸売業

業況は、売上の増加などから、改善したものの、依然としてマイナス水準は高い。

今後の見通しとしては、売上などの減少から、業況DIは悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・巣ごもり需要、ウイルス対策による日用品のニーズが高まっている。(日用品)
- ・コロナ禍で、ネットショッピング利用者が増加している。(寝具)
- ・売上が減少傾向にある中で、仕入先からの値上げ要請もあり苦慮している。(珍味・菓子)

小売業

業況は、個人消費の一部持ち直しにより、売上などが増加したことから、改善となった。

今後の見通しとしては、売上などの減少により、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・巣ごもり需要などが売上を下支えしている。(スーパーマーケット)
- ・10月以降、中古車が売れ始めている。(自動車販売)
- ・仕入品の値上げにより利幅が縮小している。(衣料品)
- ・コロナ禍の買い控えが見受けられる。(着物・レンタル)

サービス業

業況は、Go To キャンペーンの効果は多少見られたことから、業況は改善となった。

今後の見通しとしては、売上などは横ばいとなるものの、コロナ禍の影響が続き、業況DIは悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・Go To トラベルにより、週末、休前日を中心に売上が回復してきている。(宿泊)
- ・Go To イートなどにより、一時的ではあるが売上は戻ってきた。(飲食)
- ・本業の売上減少をカバーするため新しい事業を始めることも検討している。(警備・葬祭)

建設業

業況は、売上の増加から、改善している。

今後の見通しとしては、受注残の減少などにより、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・年末工事も増えてきており、官公庁を中心に、受注が安定的に推移している。(総合建設)
- ・コロナ禍の影響はほとんどなく、順調に推移している。(一般住宅建築)
- ・大規模開発を予定していたが、コロナ禍の影響もあり半年先延ばしとした。(土木建設)

不動産業

業況は、売上などの増加から、改善している。

今後の見通しとしては、販売価格の減少などにより、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・低価格物件の需要があり、仲介での売上は順調に推移している。(不動産仲介)
- ・テナントの撤退等が多く、空き物件が増加している。(不動産賃貸)
- ・コロナ禍の影響で不動産売買の動きが鈍化している。(不動産売買)

[お問い合わせ先]

(一社)静岡県信用金庫協会

電話：054-255-5530

1. 業況(全業種)

	今回調査(2020年10～12月期)						前回調査(2020年7～9月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	5.4%	16.8%	29.5%	34.6%	13.8%	▲ 26.2	2.2%	8.1%	28.6%	35.6%	25.6%	▲ 50.9
中部地区	1.5%	11.9%	33.5%	37.6%	15.5%	▲ 39.7	1.6%	5.2%	26.9%	43.5%	22.8%	▲ 59.6
西部地区	1.4%	10.7%	34.5%	38.7%	14.6%	▲ 41.3	1.2%	4.9%	24.2%	42.7%	27.0%	▲ 63.6
県内合計	2.7%	12.8%	32.8%	37.3%	14.5%	▲ 36.4	1.6%	5.9%	26.0%	40.7%	25.9%	▲ 59.1

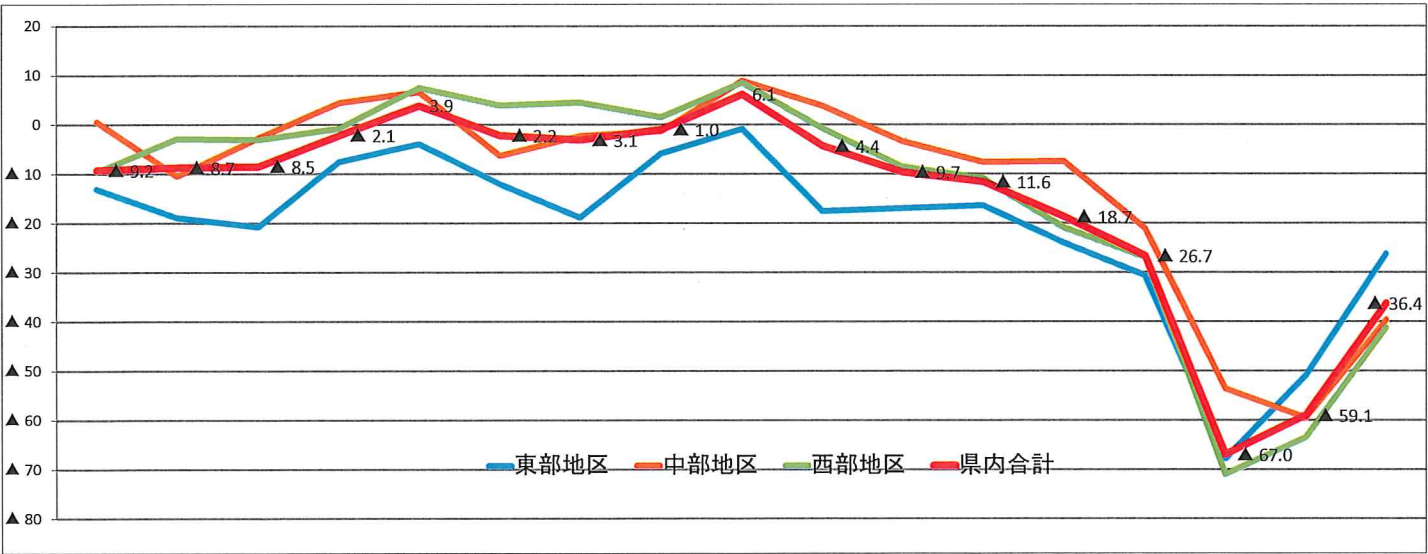
2. 業況予想(全業種)

	2021年1月～3月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	3.5%	8.9%	32.4%	39.7%	15.4%	▲ 42.7
中部地区	0.5%	7.7%	40.7%	32.0%	19.1%	▲ 42.8
西部地区	1.7%	6.8%	37.4%	39.6%	14.5%	▲ 45.6
県内合計	2.1%	7.6%	36.4%	38.4%	15.5%	▲ 44.2

3. 業況(DI)の推移(全業種)

	2016年 10～12月期	2017年 1～3月期	2017年 4～6月期	2017年 7～9月期	2017年 10～12月期	2018年 1～3月期	2018年 4～6月期	2018年 7～9月期	2018年 10～12月期	2019年 1～3月期	2019年 4～6月期	2019年 7～9月期	2019年 10～12月期	2020年 1～3月期	2020年 4～6月期	2020年 7～9月期	2020年 10～12月期
東部地区	▲ 13.0	▲ 18.8	▲ 20.7	▲ 7.5	▲ 3.9	▲ 12.0	▲ 18.8	▲ 5.8	▲ 0.8	▲ 17.5	▲ 16.9	▲ 16.3	▲ 24.0	▲ 30.6	▲ 67.0	▲ 50.9	▲ 26.2
中部地区	0.6	▲ 10.4	▲ 2.7	4.4	6.7	▲ 6.3	▲ 2.3	▲ 1.3	8.9	3.8	▲ 3.4	▲ 7.6	▲ 7.4	▲ 21.1	▲ 53.7	▲ 59.6	▲ 39.7
西部地区	▲ 9.6	▲ 2.9	▲ 3.0	▲ 0.8	7.5	3.9	4.5	1.5	8.6	▲ 0.8	▲ 8.5	▲ 10.9	▲ 20.9	▲ 26.9	▲ 71.0	▲ 63.6	▲ 41.3
県内合計	▲ 9.2	▲ 8.7	▲ 8.5	▲ 2.1	3.9	▲ 2.2	▲ 3.1	▲ 1.0	6.1	▲ 4.4	▲ 9.7	▲ 11.6	▲ 18.7	▲ 26.7	▲ 67.0	▲ 59.1	▲ 36.4

県内合計及び地区別DIの推移(全産業)



資料 2
・業種別業況

1. 東部地区

	今回調査(2020年10～12月期)						前回調査(2020年7～9月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	1.9%	13.0%	25.0%	38.9%	21.3%	▲ 45.4	2.8%	4.6%	16.7%	33.3%	42.6%	▲ 68.5
卸売業	0.0%	17.1%	31.4%	37.1%	14.3%	▲ 34.3	0.0%	8.6%	34.3%	37.1%	20.0%	▲ 48.6
小売業	7.2%	15.7%	24.1%	39.8%	13.3%	▲ 30.1	1.2%	6.0%	25.0%	44.0%	23.8%	▲ 60.7
サービス業	17.6%	19.6%	25.5%	25.5%	11.8%	0.0	0.0%	7.8%	23.5%	47.1%	21.6%	▲ 60.8
建設業	1.7%	18.6%	47.5%	28.8%	3.4%	▲ 11.9	3.4%	8.5%	52.5%	27.1%	8.5%	▲ 23.7
不動産業	5.9%	23.5%	29.4%	29.4%	11.8%	▲ 11.8	5.9%	23.5%	35.3%	17.6%	17.6%	▲ 5.9
全業種	5.4%	16.8%	29.5%	34.6%	13.8%	▲ 26.2	2.2%	8.1%	28.6%	35.6%	25.6%	▲ 50.9

2. 中部地区

	今回調査(2020年10～12月期)						前回調査(2020年7～9月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	1.9%	13.0%	22.2%	40.7%	22.2%	▲ 48.1	5.7%	3.8%	22.6%	35.8%	32.1%	▲ 58.5
卸売業	0.0%	6.7%	23.3%	50.0%	20.0%	▲ 63.3	0.0%	0.0%	26.7%	46.7%	26.7%	▲ 73.3
小売業	2.9%	23.5%	32.4%	26.5%	14.7%	▲ 14.7	0.0%	11.8%	20.6%	52.9%	14.7%	▲ 55.9
サービス業	0.0%	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%	▲ 60.0	0.0%	3.8%	23.1%	53.8%	19.2%	▲ 69.2
建設業	0.0%	14.3%	53.6%	32.1%	0.0%	▲ 17.9	0.0%	11.1%	40.7%	33.3%	14.8%	▲ 37.0
不動産業	4.3%	8.7%	43.5%	34.8%	8.7%	▲ 30.4	0.0%	0.0%	34.8%	43.5%	21.7%	▲ 65.2
全業種	1.5%	11.9%	33.5%	37.6%	15.5%	▲ 39.7	1.6%	5.2%	26.9%	43.5%	22.8%	▲ 59.6

3. 西部地区

	今回調査(2020年10～12月期)						前回調査(2020年7～9月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	1.2%	13.7%	29.2%	37.9%	18.0%	▲ 41.0	0.9%	2.4%	17.1%	43.5%	36.0%	▲ 76.3
卸売業	1.3%	5.2%	22.1%	50.6%	20.8%	▲ 64.9	1.3%	1.3%	15.0%	55.0%	27.5%	▲ 80.0
小売業	1.5%	8.8%	32.4%	42.6%	14.7%	▲ 47.1	0.0%	13.6%	22.7%	37.9%	25.8%	▲ 50.0
サービス業	4.7%	7.0%	34.9%	41.9%	11.6%	▲ 41.9	2.3%	4.5%	27.3%	50.0%	15.9%	▲ 59.1
建設業	0.0%	14.9%	51.4%	32.4%	1.4%	▲ 18.9	2.6%	7.8%	53.2%	28.6%	7.8%	▲ 26.0
不動産業	2.0%	0.0%	64.7%	27.5%	5.9%	▲ 31.4	1.9%	11.3%	39.6%	39.6%	7.5%	▲ 34.0
全業種	1.4%	10.7%	34.5%	38.7%	14.6%	▲ 41.3	1.2%	4.9%	24.2%	42.7%	27.0%	▲ 63.6

4. 県内合計

	今回調査(2020年10～12月期)						前回調査(2020年7～9月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI		やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	1.4%	13.4%	27.5%	38.4%	19.2%	▲ 42.8	1.8%	3.0%	17.6%	40.5%	37.0%	▲ 72.7
卸売業	0.7%	8.5%	24.6%	47.2%	19.0%	▲ 57.0	0.7%	2.8%	22.1%	49.0%	25.5%	▲ 71.0
小売業	4.3%	14.6%	28.6%	38.4%	14.1%	▲ 33.5	0.5%	9.8%	23.4%	43.5%	22.8%	▲ 56.0
サービス業	9.2%	10.9%	31.9%	34.5%	13.4%	▲ 27.7	0.8%	5.8%	24.8%	49.6%	19.0%	▲ 62.0
建設業	0.6%	16.1%	50.3%	31.1%	1.9%	▲ 16.1	2.5%	8.6%	50.9%	28.8%	9.2%	▲ 27.0
不動産業	3.7%	9.3%	49.1%	29.6%	8.3%	▲ 25.0	2.7%	12.7%	37.3%	33.6%	13.6%	▲ 31.8
全業種	2.7%	12.8%	32.8%	37.3%	14.5%	▲ 36.4	1.6%	5.9%	26.0%	40.7%	25.9%	▲ 59.1

資料 3
・業種別予想

1. 東部地区

	2021年1月～3月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	2.8%	10.2%	24.1%	46.3%	16.7%	▲ 50.0
卸売業	0.0%	5.7%	37.1%	42.9%	14.3%	▲ 51.4
小売業	4.8%	4.8%	28.9%	41.0%	20.5%	▲ 51.8
サービス業	3.9%	15.7%	31.4%	31.4%	17.6%	▲ 29.4
建設業	3.4%	8.5%	47.5%	35.6%	5.1%	▲ 28.8
不動産業	5.9%	8.8%	38.2%	32.4%	14.7%	▲ 32.4
全業種	3.5%	8.9%	32.4%	39.7%	15.4%	▲ 42.7

2. 中部地区

	2021年1月～3月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	0.0%	7.4%	38.9%	24.1%	29.6%	▲ 46.3
卸売業	0.0%	0.0%	23.3%	46.7%	30.0%	▲ 76.7
小売業	2.9%	8.8%	47.1%	29.4%	11.8%	▲ 29.4
サービス業	0.0%	8.0%	36.0%	32.0%	24.0%	▲ 48.0
建設業	0.0%	14.3%	57.1%	28.6%	0.0%	▲ 14.3
不動産業	0.0%	8.7%	43.5%	39.1%	8.7%	▲ 39.1
全業種	0.5%	7.7%	40.7%	32.0%	19.1%	▲ 42.8

3. 西部地区

	2021年1月～3月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	1.9%	9.6%	33.9%	37.3%	17.4%	▲ 43.2
卸売業	1.3%	2.6%	24.7%	55.8%	15.6%	▲ 67.5
小売業	1.5%	4.5%	37.3%	41.8%	14.9%	▲ 50.7
サービス業	2.3%	7.0%	37.2%	37.2%	16.3%	▲ 44.2
建設業	1.4%	5.4%	50.0%	36.5%	6.8%	▲ 36.5
不動産業	2.0%	0.0%	60.8%	33.3%	3.9%	▲ 35.3
全業種	1.7%	6.8%	37.4%	39.6%	14.5%	▲ 45.6

4. 県内合計

	2021年1月～3月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	1.9%	9.5%	32.2%	37.8%	18.6%	▲ 45.0
卸売業	0.7%	2.8%	27.5%	50.7%	18.3%	▲ 65.5
小売業	3.3%	5.4%	35.3%	39.1%	16.8%	▲ 47.3
サービス業	2.5%	10.9%	34.5%	33.6%	18.5%	▲ 38.7
建設業	1.9%	8.1%	50.3%	34.8%	5.0%	▲ 29.8
不動産業	2.8%	4.6%	50.0%	34.3%	8.3%	▲ 35.2
全業種	2.1%	7.6%	36.4%	38.4%	15.5%	▲ 44.2